

## I. 調査の目的

就職氷河期世代の雇用に関する県内企業のニーズ等を把握し、当該世代の安定就労に向けた支援策を検討するため。

## II. 調査の概要

### (1) 調査対象企業、調査数及び回答率

以下の企業、全448社

#### ① 高知県ワークライフバランス推進認証企業 399社 (令和3年10月末時点) (以下、「WLB認証企業」)

\* 登録企業410社のうち、②との重複企業11社を除く

(業種内訳) 建設業：222社、医療、福祉：54社、製造業35社、卸売業、小売業：26社、  
情報通信業：15社、学術研究・専門・技術サービス業：13社

⇒回答数 235社 (回答率58.9%)

#### ② 「就職氷河期世代チャレンジ応援団」登録企業 49社 (令和3年10月22日時点) (以下、「チャレンジ応援団」)

就職氷河期世代(概ね1993年(平成5年)から2004年(平成16年)の雇用環境が厳しい時期に学校卒業期を迎えた世代(2021年4月1日時点において35歳から50歳までの方)を指す)の雇用や育成に前向きな企業としてジョブカフェこうちに登録している企業

(業種内訳) 卸売業、小売業：11社、製造業：10社、建設業：8社、農業、林業：5社、  
医療、福祉：5社、サービス業：5社 等

⇒回答数 41社 (回答率83.7%)

### (2) 調査期間及び方法

・令和3年10月29日～令和4年1月17日

・インターネット上で回答できるアンケートフォームをメールにより送信

※メールアドレス不明の企業(33社)には調査票を郵送

#### ○留意点

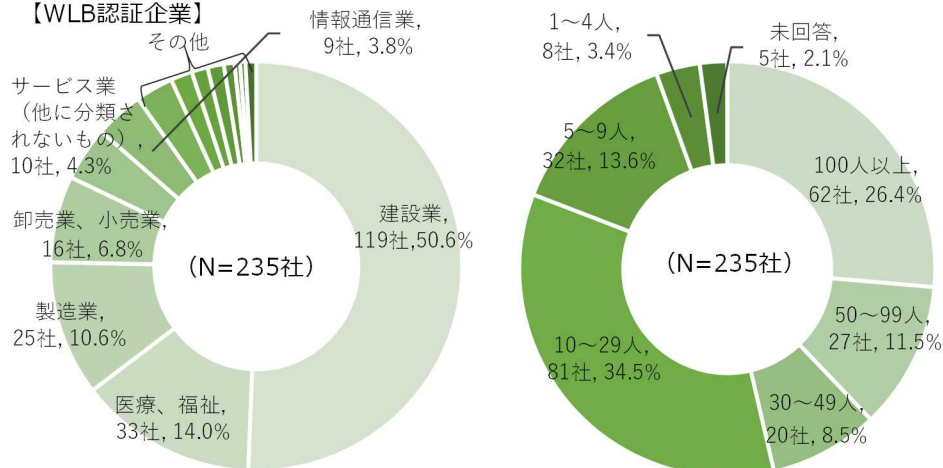
・集計結果は、すべて小数第2位を四捨五入しており、比率の数値の合計が100.0%にならない場合がある。

・複数回答の設問は、すべての比率の合計が100.0%を超える場合がある。

## III. 結果概要

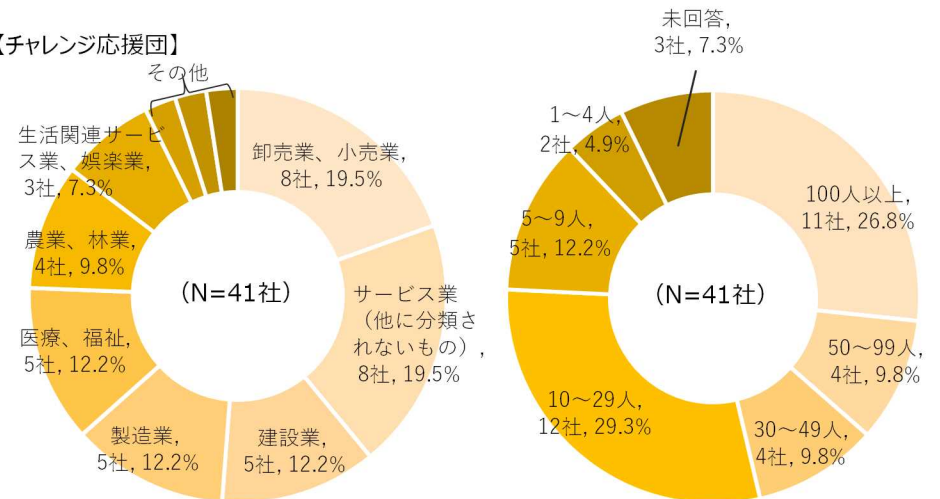
### (1) 業種・従業員数

#### 【WLB認証企業】



(その他) 「学術研究・専門・技術サービス業」…7社 「教育、学習支援業」…4社  
「金融業、保険業」「宿泊業、飲食サービス業」…各3社 「運輸業、郵便業」…2社  
「生活関連サービス業、娯楽業」「複合サービス事業」…各1社 未回答…2社

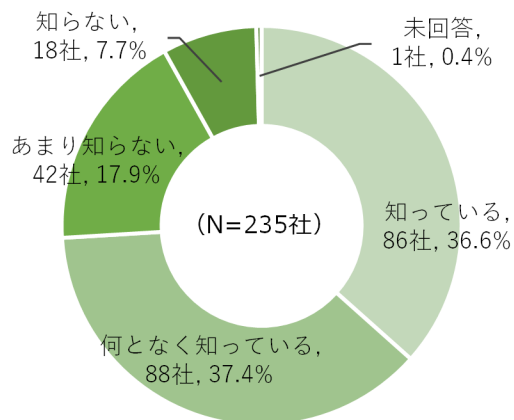
#### 【チャレンジ応援団】



(その他) 「情報通信業」「不動産業、物品賃貸業」…各1社  
「教育、学習支援業」…各1社

(2) 「就職氷河期世代支援」に関する政策の認知  
国や地方公共団体において、「就職氷河期世代」への  
支援が進められていることを知っているか。

【WLB認証企業のみへの設問】

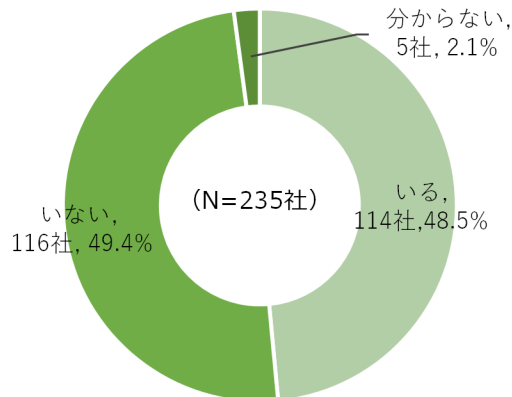


(3) 就職氷河期世代の雇用実績

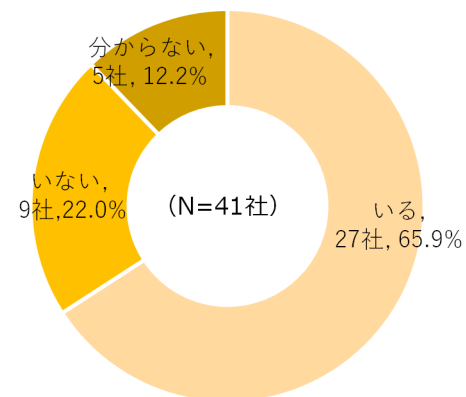
① 過去3年間（2019年9月～2021年9月）に雇用した方のうち、【30代後半～40代】かつ【前職が正社員以外または無職】の両方  
にあてはまる方がいるか。

\* 就職氷河期世代とは：概ね1993年（平成5年）から2004年（平成16年）の雇用環境が厳しい時期に学校卒業期を迎えた世代  
（2021年4月1日時点において35歳から50歳までの方）を指す

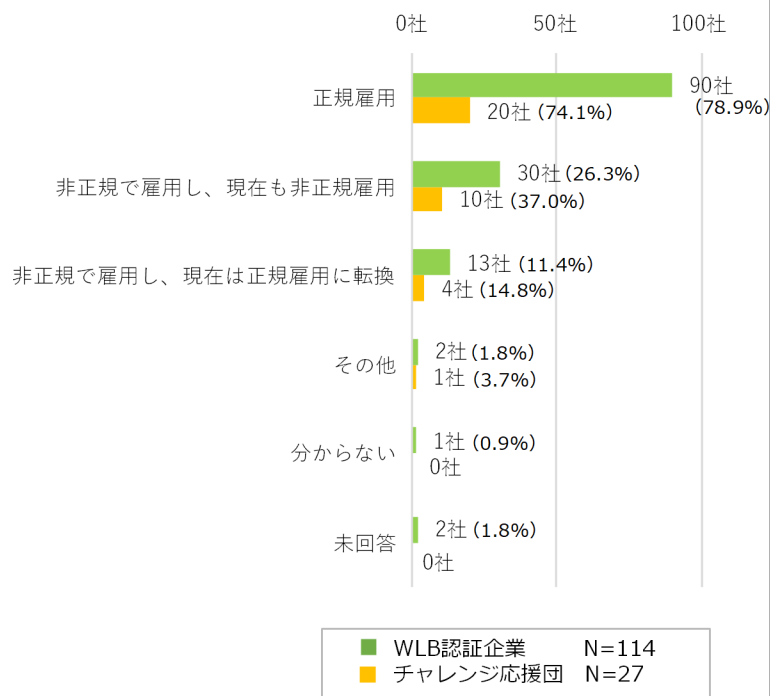
【WLB認証企業】



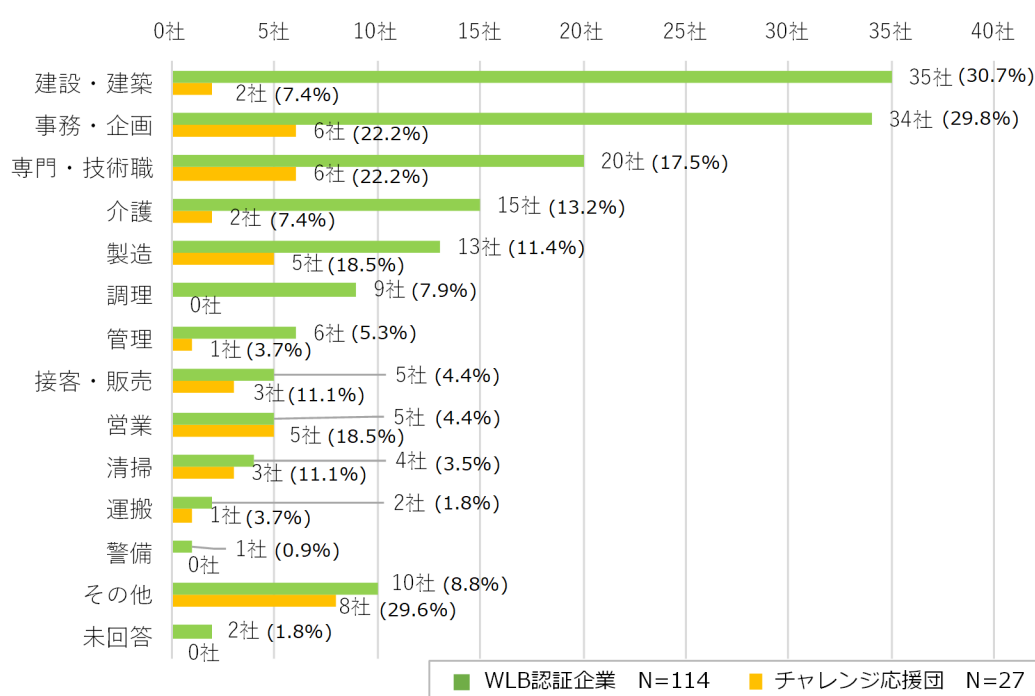
【チャレンジ応援団】



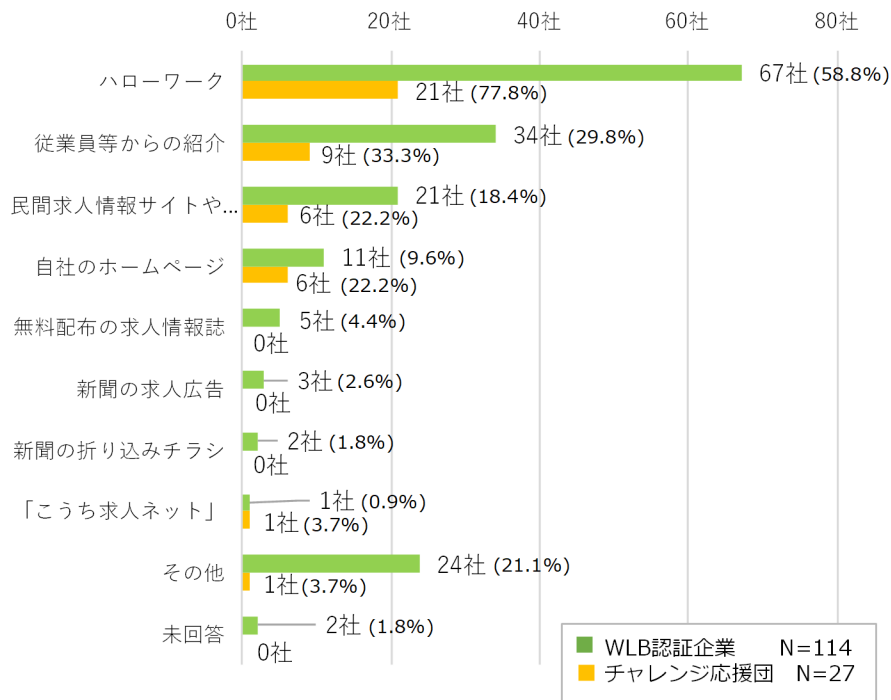
②（雇用実績がある場合）該当者の雇用形態 \*複数回答



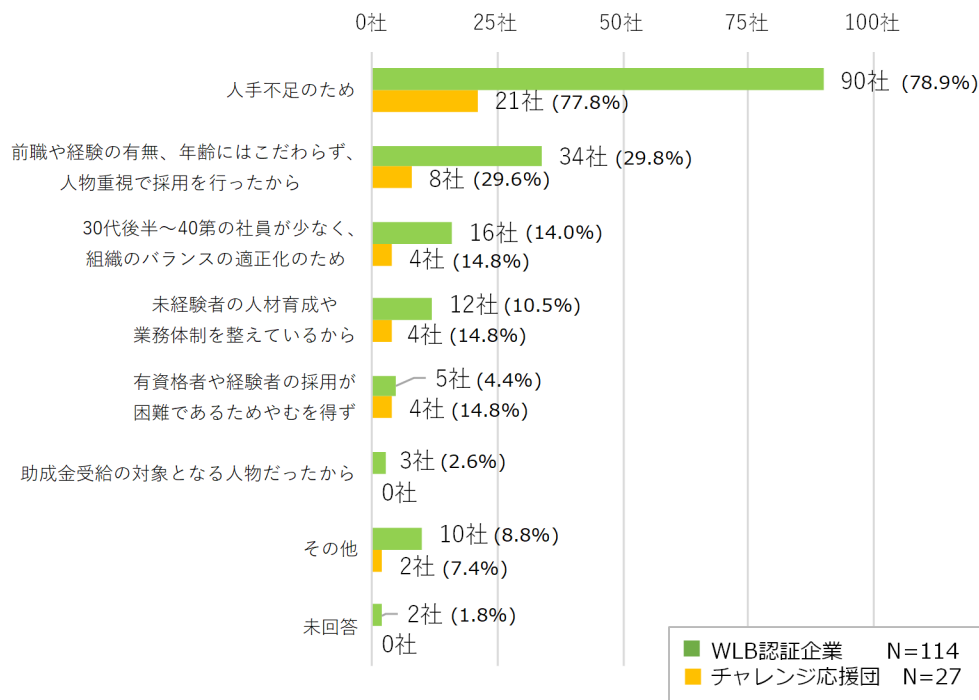
③（雇用実績がある場合）雇用した職種 \*複数回答



④ (雇用実績がある場合) どのような経路で雇用したか \*複数回答



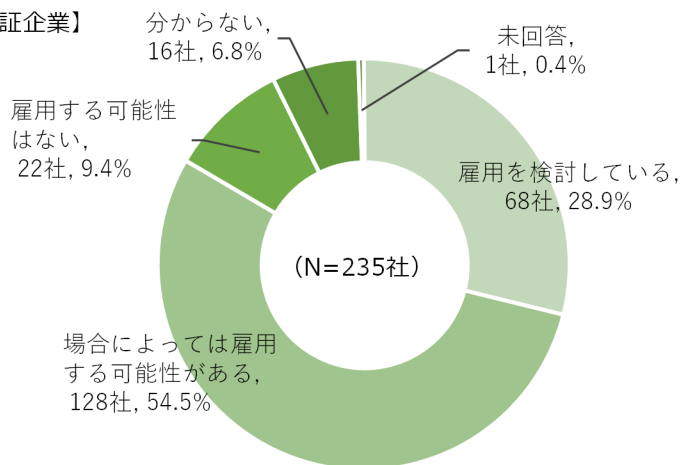
⑤ (雇用実績がある場合) 雇用した理由 \*複数回答



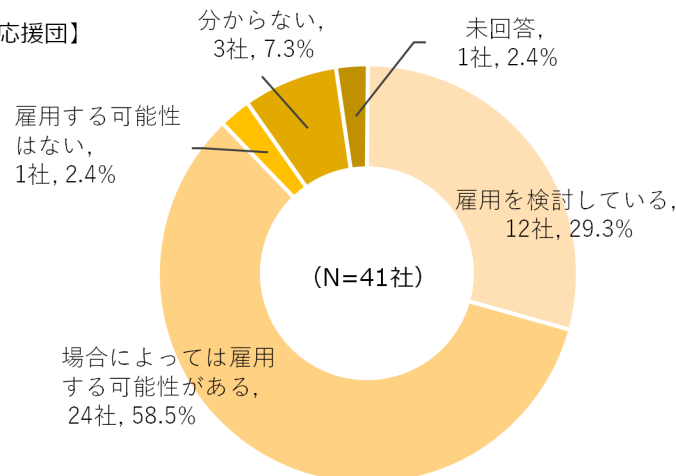
(4) 今後の雇用の可能性

① 今後、【30代後半～40代】かつ【前職が正社員以外または無職】の両方にあてはまる方を正社員として雇用する可能性はあるか。

【WLB認証企業】

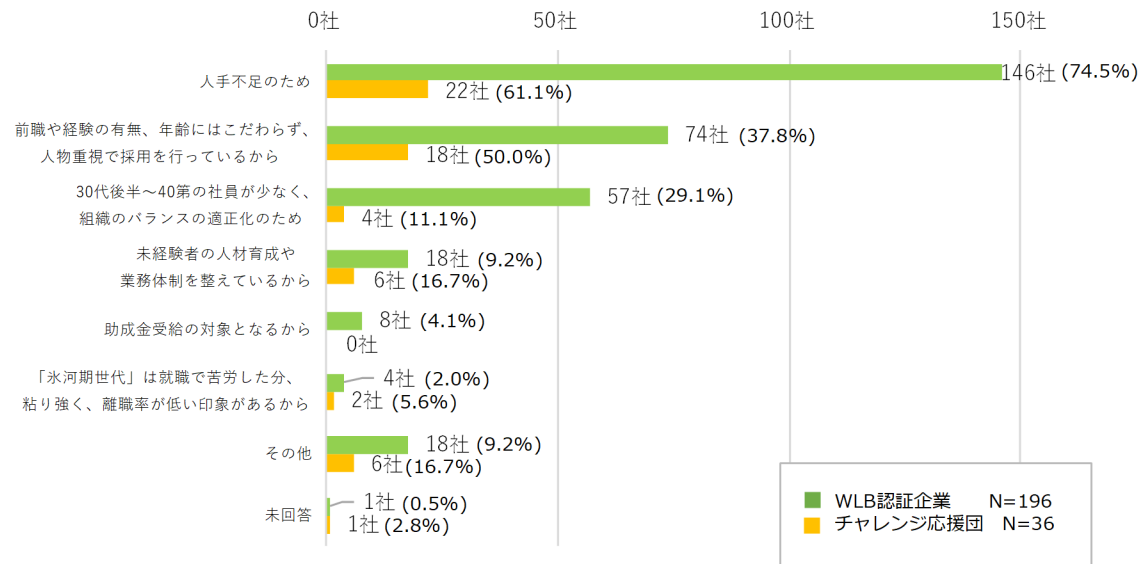


【チャレンジ応援団】



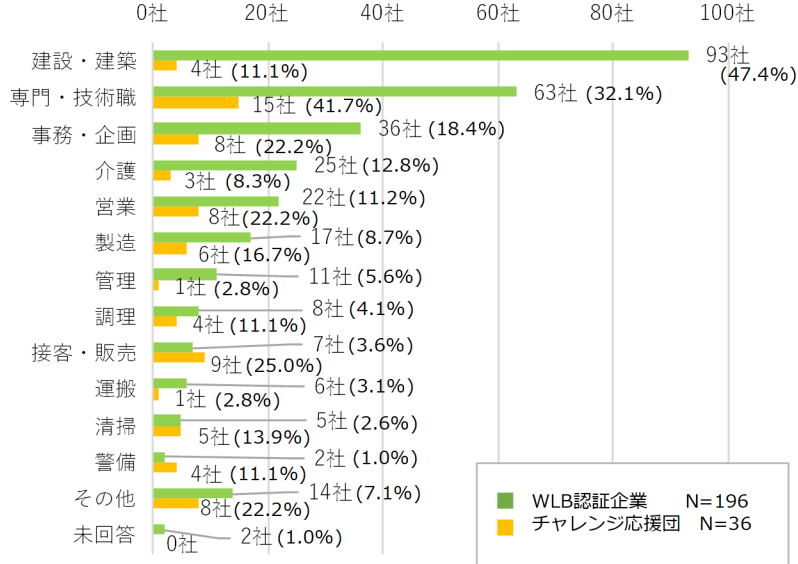
② (「雇用を検討している」または「場合によっては雇用する可能性がある」場合)

その理由 \*複数回答



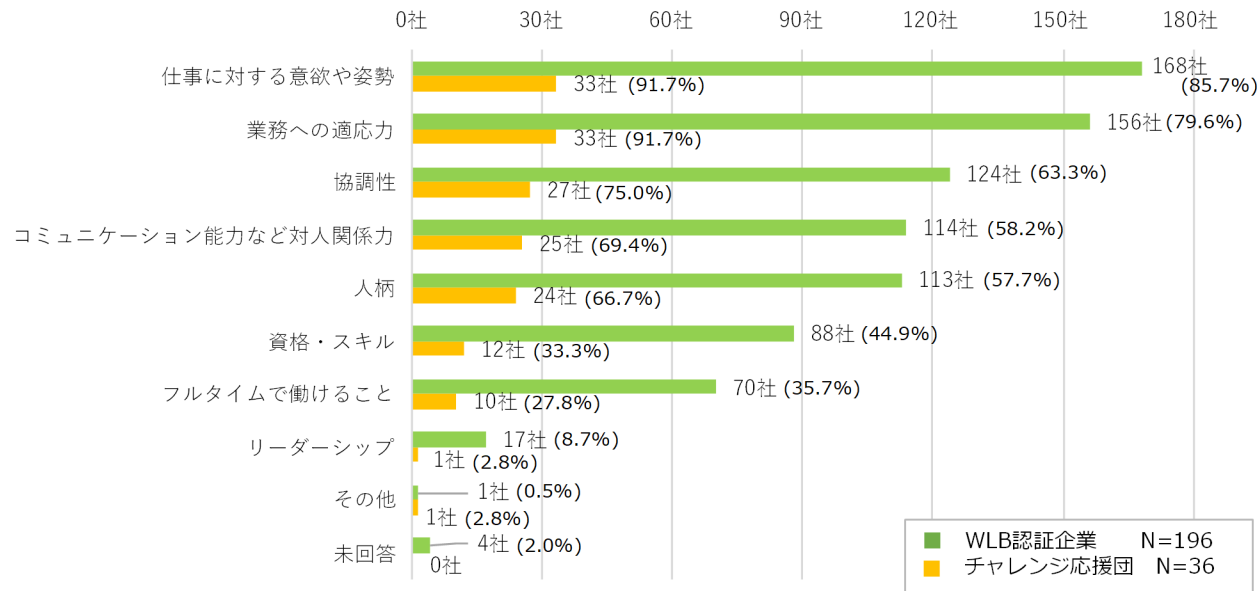
③ (「雇用を検討している」または「場合によっては雇用する可能性がある」場合)

雇用したい職種 \*複数回答



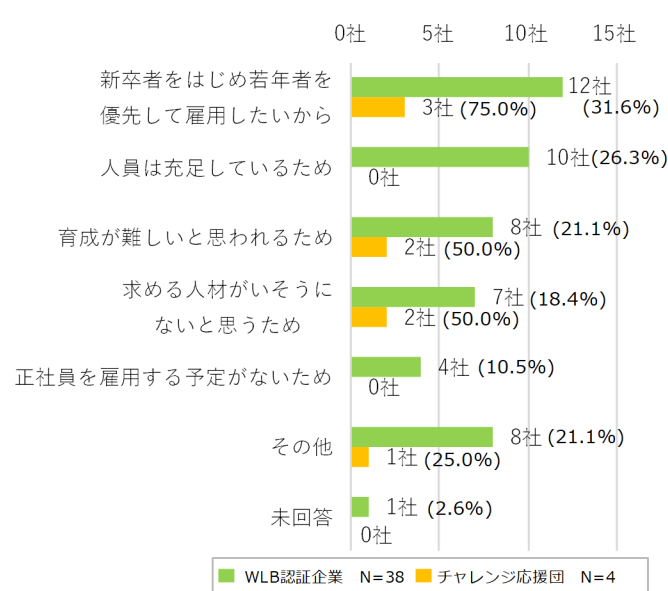
④ (「雇用を検討している」または「場合によっては雇用する可能性がある」場合)

雇用にあたって求める条件 \*複数回答



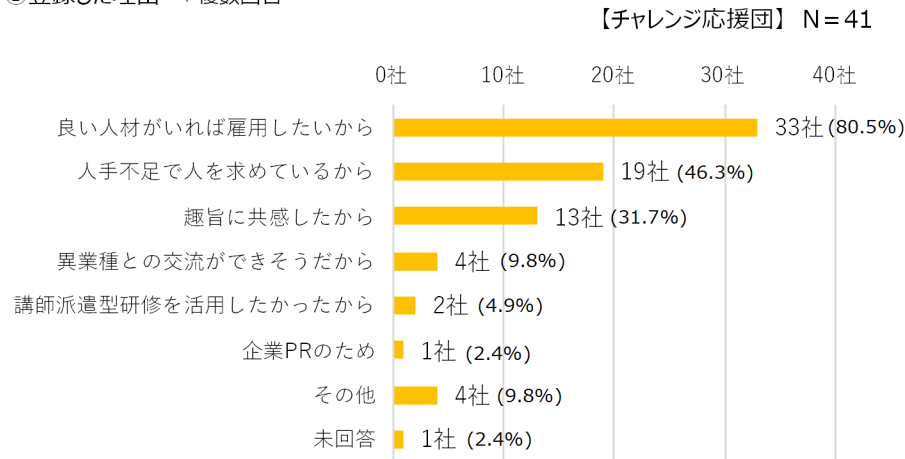
⑤ (「雇用する可能性はない」または「分からない」場合)

その理由 \*複数回答

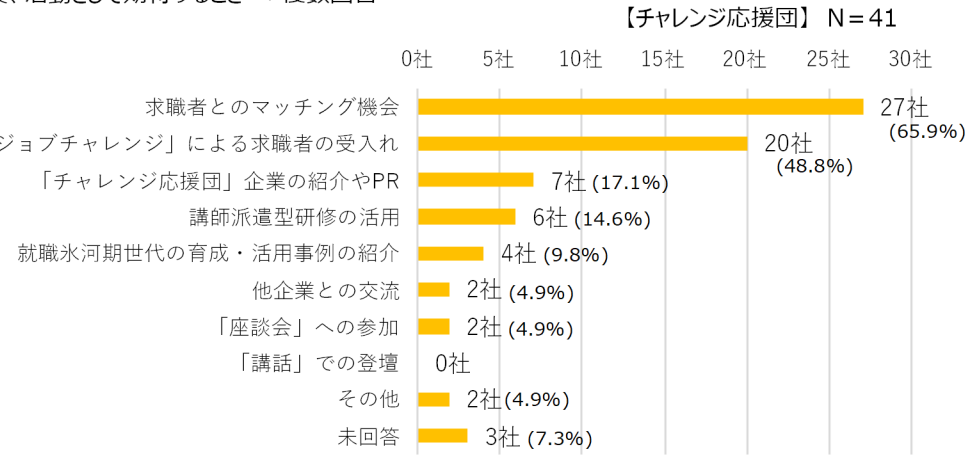


### (5) 就職氷河期チャレンジ応援団について

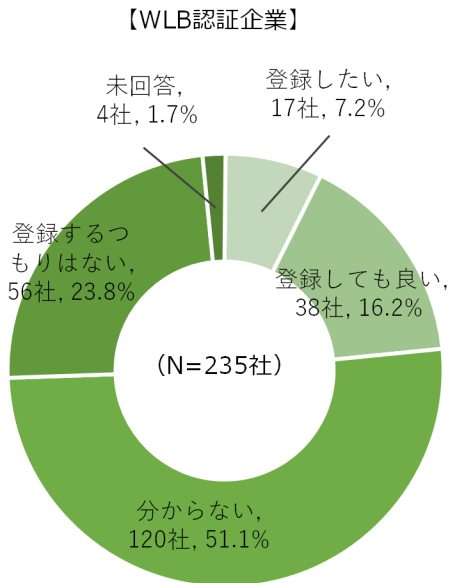
①登録した理由 \*複数回答



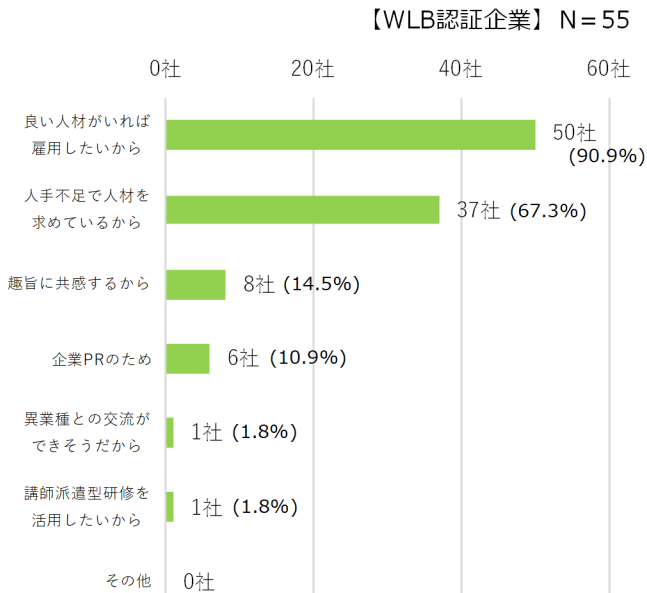
②今後、活動として期待すること \*複数回答



③登録の意向

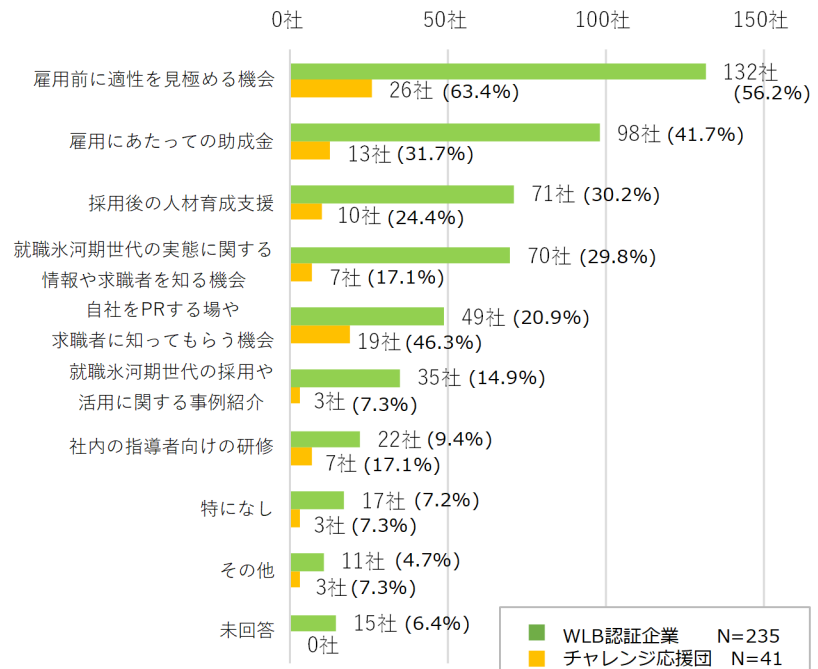


④「登録したい」または「登録しても良い」理由 \*複数回答



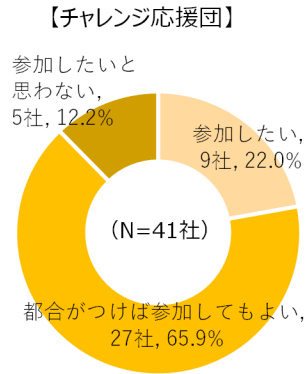
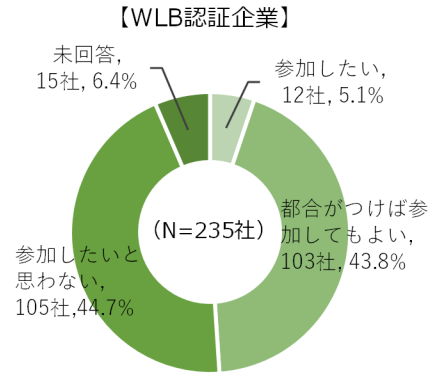
### (6) 就職氷河期世代の雇用促進について

どのような支援策があれば、県内企業での就職氷河期世代の雇用が進むと思うか。  
\*複数回答

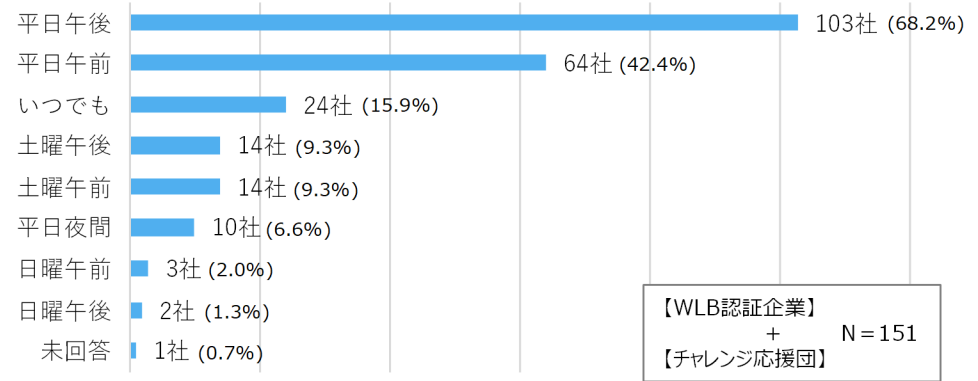


(7) 「出会いイベント」について

①来年度、人材を発掘したい企業と、企業のことが知りたい就職氷河期世代との「出会いイベント」が開催されるとしたら、参加してみたいと思うか。



②「参加したい」「都合がつけば参加してもよい」場合、参加できる日程



IV. まとめ

< 本アンケートから分かったこと >

- 1 就職氷河期世代への支援に関する政策について、WLB認証企業のうち「知っている」、「何となく知っている」が74%に上った。－(2)
- 2 企業がこれまでに就職氷河期世代（前職が非正規雇用もしくは無職）を雇用した場合の雇用形態は、正規雇用が最も多く、今後の就職氷河期世代の正社員雇用についても、8割以上の企業が前向きに捉えている。また、雇用した理由及び雇用を検討している理由は「人手不足のため」が最も多く、次に「前職や経験の有無、年齢にこだわらず、人物重視で採用を行った（行っている）から」が多い。－(3) ②⑤ (4) ①②
- 3 雇用にあたって求める条件は、「仕事に対する意欲や姿勢」「業務への適応力」「協調性」など、社会人としての基本的な姿勢や能力を求める回答が多い。－(4) ④
- 4 一方で、就職氷河期世代の雇用を考えていない理由では、一部の企業で「育成が難しいと思われるため」「求める人材がいそうにないと思うため」といった、就職氷河期世代に対しマイナスイメージを持っていると思われる回答が見られた。－(4) ⑤
- 5 「チャレンジ応援団」に登録した理由及び登録したい理由は、「良い人材がいれば雇用したい」「人手不足で人を求めている」が多い。－(5) ①③
- 6 就職氷河期世代の雇用促進に向けて、「雇用前に適性を見極める機会」や「助成金」、「求職者を知る機会」など、雇用に直接つながる支援に対する期待が高い。－(6)

< 今後の方向性・取り組み >

- 高知県就職氷河期世代活躍支援プラットフォームとの連携により、引き続き支援内容の周知に努め、理解促進を図る。－1
- 県内企業は人手不足感が強く、就職氷河期世代の正社員雇用にも前向きであり、特別な資格やスキルよりも、社会人としての基本的な姿勢や能力を求めていることから、就職氷河期世代に対し、少人数セミナー等により企業のニーズに合ったスキルアップを支援する。－2・3
- ジョブチャレンジから雇用につながった就職氷河期世代の好事例を企業に対しても紹介することで、就職氷河期世代に対するマイナスイメージの払拭を図る。－4
- 「チャレンジ応援団」へ登録の意向があるWLB認証企業を訪問等によりフォローアップし、参加企業の増加につなげる。－5
- ジョブカフェこうちの支援メニュー（職場体験講習やジョブチャレンジ、職場定着に向けたセミナー）は、企業が求めている支援内容と合致していることから、利用拡大に向けて引き続き企業側へも周知を図り、併せて、国の助成金についても情報提供を行う。－6
- 企業が求める「求職者とのマッチング機会」「求職者を知る機会」を提供するため、就職氷河期世代とチャレンジ応援団の「出会いイベント」を開催し、企業の魅力を発信するとともに、対話による相互理解を深めることで、ジョブチャレンジ等の支援メニューの活用、ミスマッチのない雇用へとつなげる。－6